

ゴーヘッドズ 速報

Goaheads

第 8 号 平成22年 4月26日

右に打たすな！のセオリーに反した結果が・・・

政司の好投打線が足引っ張る・・・



	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
G	0	0	0	0	0	0	0			0
M	1	0	0	0	2	0	×			3

4 / 2 5 (日) 八潮北公園野球場に向き、MOTOWNとのオープン戦を行った。結果は、またもや0行進、今期最多与三振11とワースト記録で完敗した。しかし、ゲーム内容は然程、悪くは感じなかった。要所を守備で乗り越え、ゲームを壊さずに進行出来た。先発の政司も四球を出すものの、自身の制球で、大量失点に繋がらなかった。しかし、点を許したシーンでは、やはり四球と守備の拙さから失点した。まずは初回の失点、先頭打者を内野安打で出塁、その後は、ライナーと内野ゴロで、2死としたが、内野ゴロからの一塁送球が逸れ、先制を許した。また、5回に閉しても、外野の飛球を目測誤りで、安打としたのは、致し方ないが、その後の処理を誤り、無死2・3塁とし、その後四球で、無死満塁。まずは押出で、2点目、内野ゴロの間に3点目を献上し、今日のゲームは決まってしまった。打線においては、先週同様、好投手の速球と切れの有る変化球に手が出なかったが、そんな中でもチャンスが2度あった。まずは5回。先週も活躍した瀧本が、内野安打で出塁、その後、2盗・3盗を決め、1死3塁、続くのぶが死球で出塁、相手投手のWPの間に1死2・3塁、しかし、後続2打者が倒れ凡退。翌6回には、哲也が内野安打で出塁、そして2盗、続く打者の進塁打で、2死三塁。ここで、次打者が死球で出塁、間髪入れずに2盗、ベンチのムードは高まったが、暴走により、チャンスを逸してしまった。

世話役の目：良かった点：先週に比べ守備がしまった。あわよくば、DPの取れるシーンも何度かあった。

元気があった。

悪かった点：外野からの返球がカットマンに帰っていない。カットマンに返っていれば、次が阻止出来た可能性があった。

塁上にランナーが入る時の送球イメージを忘れてしまった。また、周囲が声を出し、投げる方向への指示が無かった。

走塁が雑。

相手の超え出しに便乗するのは、如何なものか？

参加メンバーも感じた事は、多々あるであろう。それを個々修正しながら、次に備えよう。感じた事を口に出そう。

さあ、次はいよいよ区民大会、個々感じた事を、チームの為に、発揮し、是非初戦突破を目指そう！打線は水もの。次に繋げるイメージで、打席に入ろう。まずは出塁目指して・・・

そう、野球は点を多く取ったチームの勝ちだから・・・